

島根県立大浜田

学部改編案 異論出ず

県議会 総務委 短大保育学科定員検証

島根県立大(本部・浜田市野原町)が13日、県議会総務委員会(池田一委員長、9人)で、浜田キャンパスの総合政策学部総合政策学科(定員220人)を2021年度に3学科の地域系学部(135人)と2学科

浜田キャンパス新学部学科構想案

改編前 総合政策学部総合政策学科(定員220人)

改編後
(2021年度~)

- 地域政策学部
 - ・地域経済経営学科(定員45人)
 - ・地域公共学科(定員45人)
 - ・地域活性学科(定員45人)
- 国際関係学部
 - ・国際関係学科(定員45人)
 - ・国際コミュニケーション学科(定員45人)

※改編後の学部学科名は仮称

の国際系学部(90人)に改編する構想を示した。併せて提示した23年に新設する方針の「しまね国際地域研究センター(仮称)」とともに、委員から異論は出なかった。

同大は検討する中期計画(2019~25年度)の中で、地域系学部には地域経済経営、地域公共、地域活性の3学科、国際系学部には国際関係、国際コミュニケーションの2学科を設け、いずれも定員を45人とする構想を打ち出した。清原正義理事長兼学長は、改編で魅力を高め、何を学ぶかが分かりやすい学部学科にすることで意欲を持った学生の確保を目指す」と強調した。

「しまね国際地域研究センター」は、既存の「北東アジア地域研究センター」と19年度に新設する「しまね地域共創研究センター(仮称)」を統合し、人口減少や中山間地域対策など

から10人減の40人にした短期大学部(松江市浜乃木7丁目)の保育学科に關し、今後の学生や就職先などのニーズの動向を分析し、適当な定員規模の検証を行うことを明らかにした。

県は第3期中期目標の最終案を9月定例会に示し、議決を得たい考え。同大は19年2月に県による中期計画認可を目指している。(高橋利明)

県が直面する課題を研究し、成果を学内教育や地域に還元する考えを示した。自民党議員連盟の五百川純寿委員は、同大が理念に掲げる地域貢献が前面に出ており、「学生本意の内容になっていく」と評価。民主県民クラブの須山隆委員は「総じてすばらしい内容」と賛同した。

また、設置者の県は第3期中期目標(19~25年度)の素案を説明。定員を従来